

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆日経平均一時初の7万1000円台 「タカ派FRB」吹き飛ばすインテル株

・18日午前の東京株式市場で日経平均株価は6日続伸し、終値は前日比1150円(1.65%)高の7万1052円。上げ幅は1400円を超え、米連邦準備理事会(FRB)の金融政策会合を受けて利上げ観測が意識されるなかで意外なほど強い値動き。相場を押し上げたのはAI・半導体株で、日本株の先高観の強さは衰えていないことが改めて浮き彫りに。

#### ◆こども家庭庁、政策判断に若者の声 初の10万人調査

・こども家庭庁が15～39歳の若者10万人を対象にした意識調査を始めた。同庁として過去最大の規模。若者の生活実態や抱えている不安などを幅広く把握し、今後の政策立案に生かす。発足4年目を迎え、若者を対象にした政策を強化する狙い。結婚観や子育てに関する意識、周囲との人間関係や就職活動などで抱えた困りごとなどオンラインで尋ねる。

#### ◆マイナ保険証、4月の利用率は68% 健康保険証は7月末で完全終了

・厚生労働省はマイナンバーカードと健康保険証を一体にした「マイナ保険証」の4月の利用率が68.15%だったと報告。紙やプラスチックの保険証を持参した場合も1～3割の窓口負担で受診できる暫定措置は7月末で終了。従来の保険証が2025年12月に有効期限を迎えたことで、マイナ保険証の利用率は11月の49.48%から12月は63.24%に上昇。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆エチレン設備稼働率、5月68.1%で4月から改善 原料の中東外調達進む

・石油化学工業協会は5月のエチレン生産設備の稼働率(速報ベース)が68.1%だったと発表。過去最低を更新した4月から回復。原料のナフサ(粗製ガソリン)の中東外からの確保が進む中、原料価格と需要を見極めながら稼働水準を上げられるかが今後の焦点。5月の稼働率は4月の67.3%からは改善、3カ月連続での6割台となった。

#### ◆東京・日本橋に木造高層ビル続々、地上18階建ても 耐火耐震性能向上

・東京・日本橋エリアで木造高層ビルの建設が相次いでいる。2027年1月には木造混構造としては日本最高層となるオフィスビルが竣工する予定。防耐火や耐震の性能が向上し、木造が火災や地震に弱いイメージは払拭されつつある。脱炭素に貢献できる都市木造は増加傾向にあり、街中では木造・木質をアピールするビルが目につくように。

#### ◆5月ハウスメーカー受注速報、旭化成ホームズ45%増

・ハウスメーカー各社が発表した2026年5月の戸建て注文住宅の受注速報値によると、受注が前年を上回ったのは前月から1社増の9社。旭化成ホームズは戸建て・集合ともに好調に推移、前年比45%増。先月に続く2ケタ増で、累計も37%増となった。三井ホーム、ヤマダホームズも2ケタ増となった。また、住友林業は12カ月連続で増加を維持。

### 《 注目商品 》

#### ■TOTO、「ピュアレストEX」を刷新 ホース露出を最小限に

・便器・タンク・便座の3つのパーツを選べる組み合わせ式便器「ピュアレストEX」をフルモデルチェンジして8月3日に発売。ウォシュレットを組み合わせた際の給水ホースや電源コードを便器本体の穴に通す新構造「ホースすっきり」によりすっきりとした見た目と手入れ性を向上。



#### ■TOTO、ホテル向け「ウォシュレットHX」「ホテル向けウォシュレット一体形便器」

・ホテル向け「ウォシュレットHX」および「ホテル向けウォシュレット一体形便器」をモデルチェンジし、快適性と省エネ性能を進化させ8月3日から発売。モデルチェンジで「瞬間式」を採用。「エコリモコン」は薄型へ進化し、デザイン性を向上。



#### ■リンナイ、エアバブルテクノロジー搭載の業務用ガス給湯器

・微細な泡を水に溶け込ませる独自技術「Air Bubble Technology(エアバブルテクノロジー)」を搭載した給湯能力24号の業務用ガス給湯器。ウルトラファインバブル発生装置を内蔵することで、水まわりの汚れを軽減する効果が期待できる。排水管汚れの残存率低減を確認。

